



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場会社名 大日本印刷株式会社
 コード番号 7912 URL <http://www.dnp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 北島 義俊
 (氏名) 神戸 好夫
 配当支払開始予定日

TEL 03-5225-8220
 平成24年12月10日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	720,684	△4.5	11,614	△29.5	14,673	△26.0	396	△95.3
24年3月期第2四半期	754,921	△5.2	16,481	△58.0	19,829	△49.4	8,422	△51.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △790百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 5,356百万円 (63.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	0.62	0.59
24年3月期第2四半期	13.08	13.07

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,546,265		904,862			55.7
24年3月期	1,608,806		914,213			54.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 860,575百万円 24年3月期 871,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
25年3月期	—	16.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,520,000	0.8	38,000	11.7	39,000	5.9	12,000	—	18.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。
詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	700,480,693 株	24年3月期	700,480,693 株
25年3月期2Q	56,461,575 株	24年3月期	56,417,765 株
25年3月期2Q	644,047,972 株	24年3月期2Q	644,122,822 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場の動向などを前提として作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要などの内需が牽引しましたが、円高が長期化するとともに、欧州に加えて新興国でも景気の減速が鮮明になってくるなど、先行きの不透明感が強まりました。

印刷業界においても、需要の低迷に加え、競争激化による受注単価の下落などにより、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、DNPグループ（以下DNP）は、事業ビジョン「P&Iソリューション」に基づいて積極的な事業活動を展開し、顧客ニーズに対応した製品、サービス及びソリューションを提供するとともに、品質、コスト、納期など、あらゆる面で強い体質を持った生産体制を確立する「モノづくり21活動」に取り組み、業績確保に努めました。

また、全体最適の視点に立って国内外の事業体制を再編するとともに、グローバルやソーシャルという視点での事業展開に積極的に取り組んでいます。

情報コミュニケーション部門では、生活者の価値観の多様化、情報通信技術の進展やグローバル化などに対応した新サービス、新事業の開発に努めています。8月には、クラウド事業やプラットフォームサービス事業などの拡大に向けて、日本ユニシス株式会社との業務提携を行いました。また10月には、商業印刷、ICカード、セキュリティソリューションなどを担当する3事業部を統合し、総合的なソリューションを創出していく体制としたほか、ハイブリッド型総合書店「h o n t o（ホント）」の総合的な戦略立案とサービス開発の機能を強化しました。

生活・産業部門では、包装事業について、平成25年4月の稼働開始を目指して7月にベトナム工場の建設に着手するとともに、インドネシア工場の生産設備の拡張にも取り組むなど、成長著しい東南アジアの製造拠点を増強していきます。国内の生産体制については、一層の生産効率の向上と競争力の強化を図るため、10月に全国の包装事業の製造部門を再編して1社に統合しました。

エレクトロニクス部門では、8月に堺工場のカラーフィルター事業を堺ディスプレイプロダクト株式会社へ簡易吸収分割で移管したほか、ディスプレイ製品事業部と電子デバイス事業部を統合するなど、生産の効率化と収益性の向上に努めています。

これらの取り組みを推進するなかで、当第2四半期連結累計期間については、DNPの連結売上高は7,206億円（前年同期比4.5%減）、連結営業利益は116億円（前年同期比29.5%減）、連結経常利益は146億円（前年同期比26.0%減）、連結四半期純利益は3億円（前年同期比95.3%減）となりました。

部門別の状況については、以下のとおりです。

【印刷事業】

・情報コミュニケーション部門

出版印刷関連は、出版市場の低迷が続くなか、雑誌は減少したものの、一貫製造ラインの増強が寄与して書籍が増加し、前年を上回りました。

商業印刷関連は、積極的な営業活動によりカタログ、POPなどが増加し、前年を上回りました。

ビジネスフォーム関連は、通信系や電子マネー向けのICカードなどが好調に推移しましたが、パーソナルメールなどのデータ入力から印刷・発送までの業務を行うIPS（Information Processing Services）などが減少し、前年並みとなりました。

教育・出版流通事業は、書店市場の厳しい状況が続くなか、店頭におけるプロモーションの実施などの販促活動を強化し、前年並みとなりました。

その結果、部門全体の売上高は3,488億円（前年同期比0.4%増）、営業利益は73億円（前年同期比61.1%増）となりました。

- ・生活・産業部門

包装関連は、紙器、軟包装材などが減少しましたが、ペットボトル用無菌充填システムなどが増加し、前年を上回りました。

住空間マテリアル関連は、DNP独自のEB (Electron Beam) コーティング技術を活かした環境配慮製品などが増加し、引き続き順調に推移しました。

産業資材関連は、リチウムイオン電池用ソフトパックや太陽電池用部材などのエネルギー関連製品が増加しましたが、薄型ディスプレイ用反射防止フィルムが減少し、前年を下回りました。

その結果、部門全体の売上高は2,641億円(前年同期比0.3%増)、営業利益は120億円(前年同期比27.4%減)となりました。

- ・エレクトロニクス部門

液晶カラーフィルターは、スマートフォンやタブレット端末向けの中小型品が好調に推移したものの、液晶テレビの世界的な販売の伸び悩みにより大型品が減少したことに加え、8月に堺工場のカラーフィルター事業を移管したことにより、前年を下回りました。

電子デバイス関連は、半導体市場の厳しい状況が続くなか、モジュール製品が増加したものの、フォトマスクが減少し、前年を下回りました。

その結果、部門全体の売上高は912億円(前年同期比25.5%減)、営業損失は34億円(前年同期は7千万円の営業損失)となりました。

【清涼飲料事業】

- ・清涼飲料部門

個人消費が低調に推移し、販売競争が激化する厳しい状況のなかで、主力商品の「コカ・コーラ」「ジョージア」のほか、国内最軽量ボトル「e c o r ボトル しぼる」を使ったミネラルウォーター「い・ろ・は・す」の販売拡大に努めました。

その結果、ティー飲料、ミネラルウォーターは増加しましたが、炭酸飲料が減少し、部門全体の売上高は261億円(前年同期比2.5%減)、営業損失は2億円(前年同期は4億円の営業利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産については、総資産は、現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ625億円減少し、1兆5,462億円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ531億円減少し、6,414億円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ93億円減少し、9,048億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.2%から55.7%となりました。

当第2四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フローについては、営業活動によって得られた資金は、税金等調整前四半期純利益44億円、減価償却費403億円などにより449億円となりました。

投資活動に使用された資金は、有形固定資産の取得による支出429億円、投資有価証券の取得による支出138億円などにより568億円となり、また、財務活動に使用された資金は、短期借入金の減少40億円、配当金の支払額106億円などにより213億円となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は1,835億円となり、前連結会計年度末に比べ327億円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績見通しにつきましては、平成24年5月14日に公表した内容を修正いたしました。詳細は、平成24年11月8日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	217,518	185,201
受取手形及び売掛金	385,101	366,379
商品及び製品	91,912	91,350
仕掛品	39,356	33,687
原材料及び貯蔵品	19,850	20,327
その他	32,920	28,132
貸倒引当金	△3,703	△3,386
流動資産合計	782,956	721,692
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	213,514	194,467
機械装置及び運搬具(純額)	144,326	127,956
土地	142,149	142,014
建設仮勘定	35,410	43,704
その他(純額)	44,165	39,594
有形固定資産合計	579,566	547,736
無形固定資産		
その他	38,005	36,304
無形固定資産合計	38,005	36,304
投資その他の資産		
投資有価証券	136,703	161,656
その他	76,718	85,824
貸倒引当金	△6,034	△6,949
投資その他の資産合計	207,387	240,532
固定資産合計	824,959	824,573
繰延資産	889	—
資産合計	1,608,806	1,546,265

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	276,353	254,127
短期借入金	51,809	48,445
賞与引当金	15,019	15,291
その他	99,996	134,954
流動負債合計	443,179	452,819
固定負債		
社債	153,060	102,730
長期借入金	19,147	17,085
退職給付引当金	33,229	29,590
その他	45,976	39,178
固定負債合計	251,413	188,584
負債合計	694,593	641,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	114,464	114,464
資本剰余金	144,898	144,898
利益剰余金	723,459	713,554
自己株式	△94,172	△94,211
株主資本合計	888,649	878,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,370	3,201
繰延ヘッジ損益	△14	0
為替換算調整勘定	△21,775	△21,332
その他の包括利益累計額合計	△17,420	△18,130
新株予約権	16	16
少数株主持分	42,967	44,269
純資産合計	914,213	904,862
負債純資産合計	1,608,806	1,546,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	754,921	720,684
売上原価	623,712	596,330
売上総利益	131,208	124,353
販売費及び一般管理費	114,726	112,738
営業利益	16,481	11,614
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,365	2,395
持分法による投資利益	261	2,536
その他	5,041	3,410
営業外収益合計	7,668	8,341
営業外費用		
支払利息	1,705	1,736
その他	2,614	3,546
営業外費用合計	4,320	5,282
経常利益	19,829	14,673
特別利益		
固定資産売却益	60	114
投資有価証券売却益	65	115
退職給付制度改定益	57	—
その他	—	5
特別利益合計	183	235
特別損失		
固定資産除売却損	2,081	2,173
投資有価証券評価損	1,120	5,931
その他	860	2,373
特別損失合計	4,062	10,477
税金等調整前四半期純利益	15,951	4,431
法人税、住民税及び事業税	8,263	7,477
法人税等調整額	△1,217	△3,331
法人税等合計	7,045	4,146
少数株主損益調整前四半期純利益	8,905	285
少数株主利益又は少数株主損失(△)	483	△111
四半期純利益	8,422	396

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,905	285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,835	△1,315
繰延ヘッジ損益	21	15
為替換算調整勘定	255	223
持分法適用会社に対する持分相当額	9	1
その他の包括利益合計	△3,549	△1,075
四半期包括利益	5,356	△790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,842	△313
少数株主に係る四半期包括利益	513	△477

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,951	4,431
減価償却費	46,562	40,363
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,297	604
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,699	△3,281
持分法による投資損益(△は益)	△261	△2,536
のれん償却額	1,681	1,591
受取利息及び受取配当金	△2,365	△2,395
支払利息	1,705	1,736
投資有価証券売却損益(△は益)	△64	△115
投資有価証券評価損益(△は益)	1,120	5,931
固定資産除売却損益(△は益)	2,037	2,070
売上債権の増減額(△は増加)	23,951	18,297
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,177	4,515
仕入債務の増減額(△は減少)	1,094	△23,071
その他	△1,964	5,416
小計	76,274	53,558
特別退職金の支払額	—	△1,380
法人税等の支払額	△9,535	△7,178
営業活動によるキャッシュ・フロー	66,739	44,999
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	805	△409
有形固定資産の取得による支出	△34,729	△42,968
有形固定資産の売却による収入	808	1,719
投資有価証券の取得による支出	△968	△13,890
投資有価証券の売却による収入	89	239
事業譲渡による収入	—	8,091
利息及び配当金の受取額	2,892	2,803
その他	△7,327	△12,430
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,430	△56,845
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△7,886	△4,007
長期借入れによる収入	4,170	1,200
長期借入金の返済による支出	△3,503	△3,074
社債の償還による支出	△1,323	△330
少数株主からの払込みによる収入	—	1,882
自己株式の取得による支出	△47	△16
子会社の自己株式の取得による支出	—	△0
利息の支払額	△1,586	△1,745
配当金の支払額	△10,313	△10,310
少数株主への配当金の支払額	△345	△317
その他	△4,243	△4,592
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,078	△21,311

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	219	456
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,450	△32,701
現金及び現金同等物の期首残高	222,056	216,279
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	295	△25
現金及び現金同等物の四半期末残高	225,802	183,552

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報コミュニ ケーション	生活・産業	エレクトロ ニクス	清涼飲料	合 計		
売上高							
外部顧客への売上高	345,068	260,658	122,371	26,822	754,921	—	754,921
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,525	2,826	0	1	5,353	△5,353	—
計	347,594	263,485	122,371	26,823	760,274	△5,353	754,921
セグメント利益又は損失(△)	4,564	16,560	△75	402	21,452	△4,971	16,481

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究並びに各セグメント共有の研究に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報コミュニ ケーション	生活・産業	エレクトロ ニクス	清涼飲料	合 計		
売上高							
外部顧客への売上高	346,103	257,210	91,223	26,146	720,684	—	720,684
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,764	6,964	0	0	9,730	△9,730	—
計	348,867	264,174	91,224	26,147	730,414	△9,730	720,684
セグメント利益又は損失(△)	7,354	12,026	△3,442	△294	15,644	△4,029	11,614

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究並びに各セグメント共有の研究に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

以 上